



図書館 めくるくん通信

図書館 ☎ 69♦3706

図書館へ行こう～分室編5～

分室でも希望の資料を予約、リクエストできます。本館にある資料(本・雑誌・紙芝居・CD・DVDなど)の取り寄せもお気軽にご利用ください。

◆西浦公民館分室

人気はミステリー小説、時代小説、園芸、料理・裁縫など。新刊雑誌はエッセ、家庭画報、サライがあります。

明るいつローリングの室内は、日当たりがよく居心地のいい空間です。小さなお子さんも本をゆっくり選んで過ごせます。

とき 毎週火・水・木・土曜日

午後2時～5時30分

※祝日および図書館本館の休館日は休み。

ところ 西浦公民館1階

図書館に入った本



毎月1,000冊以上の本が入ります。
一部をご紹介します♪



『雪煙チェイス』

東野圭吾／著 実業之日本社

『ふしぎなおじさん』

宮城谷聖枝／著 清香文庫



『料理上手の自家製レシピ』

有元葉子ほか／著 家の光協会

『禁断のレシピ』

枝元なほみ・多賀正子／著 NHK出版



『ママの心に寄りそう絵本たち』

磯崎園子／著 自由国民社



『百姓が書いた有機・無農薬栽培ガイド』

大内信一／著 コモンズ

『これだけは知っておきたい園芸の基礎知識』

金田初代／著 西東社



『身近な人ががんになったときに役立つ知識 76』

内野三菜子／著 ダイヤモンド社

貸出中の場合もありますので、本が見当たらない時はお気軽に職員にお尋ねください。

生き物から学べる事

■魚はなぜ泳ぐか

蒲郡を流れる西田川は流域の子供たちにはいい経験の場で、夏は「川小僧(絶滅危惧種)」でにぎわうが、今の時期は当然のように寒くて誰もいない。川の横の恐竜公園でさえ、ブランコをする子供たち数人のみです。橋の上から川をのぞくと、魚が数匹泳いでいました。オイカワがカワムツという魚で夏は子供たちのいい遊び相手です。魚たちはみな上流に頭を向けて泳いでいます。

■上流を向いて泳ぐ理由

川魚がみな上流に頭を向けて泳いでいるのは、そりや下流に頭を向けていたら海へ流れて行ってしまいうからですが、流れてくるエサを早く見つけて食べるためと、その場から流されないためと、その意味などもあります。つまり上流に向かって泳いでいるからこそやっとなるほどなあとあります。人間でも昨今の目まぐるしい時代、止まっていたら流されるも同然です。止まっていたらその場にいられると思っただけで、一生懸命



館長 小林龍二

竹島水族館
☎ 68♦2059

■時期やタイミングで泳ぐ

さらに魚は水の流れや敵がいらないタイミングで一気に力を出してさらに泳いで上流へ移動します。雨が降り増水したり、敵である水鳥がいるときには動きません。これも人に置き換えると、がむしゃらに動いても意味がない、無駄になつたり、逆に危険な目にあうこともある。様子を見極めて、動くべき時を見定めて一気に力を出して動く。いつでも動けるように、そのための準備をいつもしておく、ということが学べますね。

■生き物からヒントを得よう
水族館でも、ただ単に魚を眺めて魚の勉強をするだけではつまらない、とてももったいないと思います。生き物を見ているとそこから自分のためになるヒントがたくさん得られると感じます。うまく生きるコツや、楽しく暮らすためのヒント、明日からまた頑張つて働いたり、楽しく学校に行くための要素がたくさんあります。魚たちも水の中でいろいろなことを考え、工夫をして、必死に生きていて、楽しいこともあるればつらく悲しいこともあるのだらうと思えます。そんな世界をじっくり見極めて、自分に照らし合わせたり比べたりするとさまざまなことが学べると思います。なんだか今回はお寺で聞く説法のようになつてしまいました。水族館からそんなことを学んで、みんなが楽しく幸せになると嬉しいです。合掌。